令和５年度東京歯科大学水道橋病院

医療連携報告会・懇親会

プログラム・抄録集

日　時：令和６年２月15日（木）19:30～

会　場：東京歯科大学水道橋校舎本館12A講義室（12F）

「歯の痛みへの対応」

□　講 演 ① 19:35～「非歯原性歯痛の病態の概要と診断のポイント」

□　講 演 ② 20:00～「歯内療法領域の歯の痛みと対応」

◆　懇 親 会 20:40～　会場：東京歯科大学水道橋校舎西棟１階ラウンジ

令和５年度東京歯科大学水道橋病院
医 療 連 携 報 告 会 ・ 懇 親 会

【医療連携報告会】

日　時：令和６年２月15日(木) 19:30～

会　場：東京歯科大学水道橋校舎本館12A講義室（12F）

テーマ：「歯の痛みへの対応」

司会：副病院長・地域医療連携委員会委員長　古　澤　成　博

19:00～　受付開始

19:30～　開会挨拶　水道橋病院長　山下　秀一郎

19:35～　講 演 ①　「非歯原性歯痛の病態の概要と診断のポイント」

障害者歯科・口腔顔面痛研究室教授

福　田　謙　一

20:00～　講 演 ②　「歯内療法領域の歯の痛みと対応」

歯内療法学教授　古　澤　成　博

20:25～　質疑応答

20:35～　閉会挨拶　副病院長・地域医療連携委員会委員長　古　澤　成　博

【懇　親　会】

時　間：同日 20:40～21:30（終了予定）

会　場：東京歯科大学水道橋校舎西棟１階ラウンジ

～　講演　①　～

「非歯原性歯痛の病態の概要と診断のポイント」

東京歯科大学
口腔健康科学講座／障害者歯科・口腔顔面痛研究室
（同大学水道橋病院スペシャルニーズ歯科・ペインクリニック科）
福田謙一

歯の痛みを訴える患者が来院した時、歯科医師は、訴えている歯の部位を肉眼で確認すると思います。う蝕による歯の崩壊、歯周組織の炎症、歯の破折などの器質的疾患を視覚的に、さらにＸ線的にも確認し、原因があれば、診断は比較的容易で除痛もできると思います。しかしながら、視覚的にもＸ線的にも、歯髄炎や外傷などの痛みの原因を認識できず、診断に困惑してしまう歯痛が存在します。また、抜髄後や根管治療後、患者が執拗に痛みを訴えるが原因がよくわからないとか、抜歯後の抜歯窩の治癒は良好なのに患者が痛みを訴えるとか、補綴物を入れたらよくわからない痛みを訴え始めたといった歯痛に遭遇されたことはないでしょうか。このような痛みの多くが、歯そのものに原因が存在しない非歯原性歯痛と呼ばれる病態です。「非歯原性歯痛」の診療に関するガイドラインが 2011 年に発表され、歯科医師国家試験出題基準にも「非歯原性歯痛」が収載されるなど、歯科医師が行うべき医療水準は急速に変化しています。近年、非歯原性歯痛に対する誤診を原因とした係争事例も散見されている現状からも、歯痛を診断していく上で、非歯原性歯痛の病態概念を念頭においておくことは重要だと思われます。

痛みの原因が三叉神経領域の筋肉や脈管に存在し、それが歯痛に投射された関連歯痛は非歯原性歯痛の中で最も多いです。まずは、これを押さえておくことが重要だと思います。関連歯痛以外では、神経障害性歯痛があります。感覚神経は末梢のどこかで損傷されると多くの場合、神経系伝達における神経間の痛みの修飾において、興奮系の増大と抑制系の失調によって生じる中枢性感作が起きて、痛みが過敏化します。そして難治性の痛みに発展するのが神経障害性歯痛です。また、末梢への直接的なダメージがない場合でも、痛みが長期に及んだり、心理的疲弊によって歯の痛みを連絡する神経経路のどこかで神経伝達に変調が生じると、痛覚変調性の歯痛が出現することもあります。

本講演では、非歯原性歯痛の病態の概要と複雑化した非歯原性歯痛の病態を可能な限り把握するための診断のポイントについてお話しさせていただきます。

～ 講 演 ② ～

「歯内療法領域の歯の痛みと対応」

東京歯科大学
歯内療法学教授　古澤 成博

日常臨床で遭遇する歯の痛みには種々な原因が考えられるが、通常「歯が痛い」という主訴については、歯髄が痛みを感じていることが多いのは言うまでもない。周知の通り、初期の歯髄炎では冷刺激に対して疼痛を感じ、悪化すると温熱刺激に対して疼痛を生ずるようになり、そのまま放置しているとやがて鋭利拍動性、放散性、持続性の自発痛が生じてくるのが、歯髄炎の流れである。従来、急性症状が発現した歯髄炎または急性症状の発現が予測される状態の歯髄炎では、直接抜髄法が適応されるのが常であった。しかしながら近年では、炎症部の歯髄のみを除去して出来るだけ歯髄を温存させる方法、すなわち Vital Pulp Therapy=VPT が注目されている。本法は可及的に歯髄を温存させるための処置法であるが、実は以前から本学で行われていた処置法でもある。また、歯髄の症状がそれほど強くない場合でも、咬合痛や咀嚼時痛から歯髄炎が根尖部周囲組織に波及していることが推測される症例もある。さらに根尖部圧痛が発現している症例で、単なる根尖性歯周炎のみならず、フェネストレーションの場合もあり、正確な診断が必要となる。このように、歯内療法領域に関する疼痛の発現の様態はバラエティーに富んでおり、どのように診断し対応したらよいか、処置法に迷うことも多い。今回は、そのような日常臨床で遭遇する「歯の痛み」、特に歯内療法領域に関する歯の疼痛の原因と、その対処法について述べてみたいと思う。また、筆者の紹介患者様のなかでも、歯内療法処置を行っただけでは解決されずに、ペインクリニックと一緒に治療を行っているケースも数多く経験している。今回同時に開催される福田教授の講演も参考にして頂き、どのような症例でペインクリニックへ紹介すれば良いのか等、併せて考えて頂けると幸いである。

病院長	山 下 秀一郎
副病院長	鳥 山 佳 則
副病院長	古 澤 成 博
副病院長	新 谷 誠 康
副病院長	笠 原 清 弘

東京歯科大学水道橋病院
診療科担当医ご案内（レギュラースタッフ）

R6.1現在

診療科名	職名	氏名	講座名
保存科	部長・教授	古 澤 成 博	歯内療法学
	客員准教授	河 野 誠 之	
	講師	（山 田 雅 司）	
		佐 古 亮	
	助教	田 宮 資 己	
		鈴 木 穂	
		中 里 晴 香	
	レジデント	北 島 彩 花	
		髙 橋 玲 子	
		江 澤 奈 穂	
		古 澤 誉 彰	
	教授	齋 藤 淳	歯周病学
	講師	勢 島 典	
	医局長・講師	今 村 健太郎	
	助教	山 下 慶 子	
		北 村 友里恵	
	レジデント	齋 藤 佳 美	
		安 蒜 麻友里	
		原 田 怜 音	
		田 村 真 理	
		岡 本 静 香	
		小久保 楓 香	
	教授	村 松 敬	保存修復学
	准教授	杉 戸 博 記	
	講師	春 山 亜貴子	
		半 場 秀 典	
	助教	石 塚 久 子	
		中 野 岳 志	
		宮 吉 美 仁	
	レジデント	野 村 知 史	
補綴科	教授	上 田 貴 之	老年歯科補綴学
	准教授	竜 正 大	
	講師	髙 野 智 史	
		太 田 緑	
	助教	齋 藤 壮	
		石 田 晃 裕	
		中 澤 和 真	
	教授	関 根 秀 志	クラウンブリッジ補綴学
	名誉教授	佐 藤 亨	
	准教授	野 本 俊太郎	
	講師	四ツ谷 護	
		酒 井 貴 徳	
	助教	露 木 悠	
		黒 田 祥 太	
		平 野 瑞 穂	
	レジデント	岡 野 文 佳	
		河 津 里 香	
		佐 藤 真 紀	
		荒 井 春 乃	
	部長・教授	山 下 秀一郎	パーシャルデンチャー補綴学
	医局長・准教授	田 坂 彰 規	
	客員准教授	堀 田 宏 巳	
	講師	大 平 真理子	
	助教	加 藤 芳 実	
		鎌 田 聡 仁	
		岡 野 日 奈	
		小 林 裕	
		伴 野 圭 太	
	レジデント	池 田 彩 音	
		藤 田 尚 志	
		中 村 領 杜	
口腔外科	客員教授	髙 野 正 行	口腔顎顔面外科学
		柴 原 孝 彦	
		髙 木 多加志	
	医局長・准教授	渡 邊 章	
	講師	（吉 田 秀 児）	
		大 野 啓 介	
	助教	加 藤 宏	
		有 泉 高 晴	
		林 宰 央	
	レジデント	小 原 身知子	
		小 坂 悠 樹	
		村 松 賢太郎	
	部長・教授	片 倉 朗	口腔病態外科学
	病院教授	笠 原 清 弘	
	准教授	菅 原 圭 亮	
	講師	西 山 明 宏	
	助教	星 野 照 秀	
		小 山 侑	
		小谷地 雅 秀	
	レジデント	二階堂 純 彦	
		小川内 香 帆	
		中 西 将 大	
		秀 島 樹	

診療科名	職名	氏名	講座名
歯科麻酔科	部長・准教授	（小 鹿 恭太郎）	歯科麻酔学
	部長代理・講師	半 田 俊 之	
	医局長・講師	吉 田 香 織	
	助教	手 島 麻 子	
		齋 藤 菜 月	
	レジデント	津 谷 瑠 理	
矯正歯科	部長・教授	西 井 康	歯科矯正学
	客員教授	末 石 研 二	
	短大教授	片 田 英 憲	
	准教授	石 井 武 展	
	医局長・講師	立 木 千 恵	
	講師	有 泉 大	
	助教	西 村 達 郎	
		戸 村 拓 真	
	レジデント	原 崎 ひとみ	
		市 川 江里佳	
		林 優 希	
		大 澤 雄一郎	
		太 田 健太郎	
		都 丸 宏 実	
		森 瑞 貴	
小児歯科	部長・教授	新 谷 誠 康	小児歯科学
	講師	辻 野 啓一郎	
	医局長・講師	櫻 井 敦 朗	
	講師	本 間 宏 実	
	助教	棚 瀬 稔 貴	
	レジデント	濱 口 翔 一	
		丹 羽 佳世子	
		田 中 康 裕	
口腔インプラント科	部長・教授	佐々木 穂 高	口腔インプラント学
	医局長・講師	平 野 友 基	
	助教	小田 由香里	
		浅 見 洋 佑	
		飯 島 典 子	
	レジデント	角 田 航	
		原 田 惇 朗	
		重 松 正 樹	
		賴 岡 廣 明	
		鈴 木 航	
		小 西 李 奈	
スペシャルニーズ歯科・ペインクリニック科	科長・教授	福 田 謙 一	口腔健康科学
	病院教授	大多和 由 美	
	医局長・講師	野 口 智 康	
	助教	加 藤 栄 助	
		添 田 萌	
	レジデント	野 末 雅 子	
		廣 瀬 詩季子	
健康スポーツ歯科	科長・教授	中 島 一 憲	
	レジデント	阪 上 隆 洋	
		筒 井 新	
		都 合 晋 司	
摂食嚥下リハビリテーション科	科長・教授	石 田 瞭	
	准教授	大久保 真 衣	
	医局長・講師	野 口 智 康	
	レジデント	芳 村 竜 秀	
放射線科	部長・教授	後 藤 多津子	歯科放射線学
	客員教授	岡 野 友 宏	
	医局長・講師	音 成 実 佳	
	講師	（小 髙 研 人）	
	助教	佐 藤 仁 美	
		松 元 秀 樹	
		和 田 大 岳	
臨床検査科	部長・教授	松 坂 賢 一	病理学
	客員教授	橋 本 貞 充	
	准教授	國 分 克 寿	
	講師	中 島 啓	
	助教	明 石 良 彦	
内科	科長・准教授	山 岸 由 幸	
眼科	科長・特任教授	ビッセン 弘 子	
	医局長・講師	太 田 友 香	
	助教	上 原 朋 子	

（　）長期出張中

～ ご 案 内 ～

【診療情報提供書（紹介状）について】

「診療情報提供書（紹介状）」ご入用の際には、恐れ入りますが下記までご連絡のほどお願いいたします。

東京歯科大学水道橋病院　地域医療連携室
〒101-0061 東京都千代田区神田三崎町 2-9-18
TEL:03(5275)1732(ダイヤルイン)、FAX:03(3262)3215
E-mail:renkeish@tdc.ac.jp

【各科へのお問い合わせ電話番号について】

診療のお約束やお問い合わせは、各科直通ダイヤルインにおかけ下さいますようお願い申し上げます。

受付時間：平日 8:45～17:30 土曜 8:45～13:00

保　存　科	03(5275)1721 03(5275)1722	補　綴　科	03(3262)3425 03(3262)3426
※口腔外科 ※（神経修復外来）	03(5275)1725（指定医あり） 03(5275)1726（指定医なし）	※矯正歯科	03(5275)1724
小児歯科	03(5275)1723	※スペシャルニーズ歯科・ペインクリニック科	03(5275)1795
※歯科麻酔科	03(5275)1851	※口腔インプラント科	03(5275)1760
※健康スポーツ歯科	03(5275)1721 03(5275)1722	※摂食嚥下リハビリテーション科	03(5275)1732
内　科	03(5275)1926	※眼　科	03(5275)1856
※放射線科（CT 撮影）	03(5275)1953	医事課（受診案内）	03(5275)1932

※　初診の予約を必要としている診療科

【日本歯科医師会生涯研修について】

当医療連携報告会は、（社）日本歯科医師会生涯研修事業に認定されております。
受付に IC カードリーダーを用意しておりますので、会員の先生方は、日歯生涯研修事業 IC カードをタッチして単位登録を行ってください。

《MEMO》

地域医療連携委員会委員

【委員長】古澤成博　【副委員長】大多和由美【顧問】山下秀一郎、柴田文仁

【水道橋病院委員】家永祐子、石井哲、石田瞭、内田篤志、江橋延江、片倉朗、鎌田美樹、亀山桂、後藤多津子、佐々木穂高、新谷誠康、鳥山佳則、中島一憲、中村友美、西井康、半田俊之、ビッセン弘子、福田謙一、松坂賢一、宮城島俊雄、山岸由幸

【学外委員】臼田準、元田文治、仲谷清孝、濱克弥、番田秀司、文野弘信

※50 音順